



限られた時間の使い方

初めまして、非常勤講師として予備校に勤務しています。長岡優汰（ながおかゆうた）です。私は、府立大手前高校出身で、高校三年生の夏頃からカイチ予備校に通い始め、大阪公立大学に進学しました。私は、勉強以外の課外活動などに力を入れているので他の人とは少し変わった受験生生活を送っていました。しかし、短期間で成績を上げることに成功し、最終的に第一志望の大学に合格できました。その経験を踏まえて、同じような境遇の人や時間が限られているという人の役に立てるかもしれないと考え、私が受験生時代に意識していたことについてお話ししたいと思います。

私が高校時代に取り組んだ課外活動で大きなものは研究発表と海外研修でした。研究発表については、数学のことを扱い、最終的に学校代表で全国大会に出場させてもらいました。海外研修はサンフランシスコへ行き、一週間カリフォルニア大学で学ぶ機会をいただきました。こうした経験はかなり価値のあるものでしたが、主な活動が終了したのが夏休み

だったこともあり、受験勉強に本格的に取り組めたのは夏休み後でした。限られた時間の中、勉強効率を最大化するためにいくつかのことを意識して行いました。

まず行ったことは生活習慣の固定化です。元々朝は六時ごろには起きていたのですが、四時半に起床し、家を出るまで二時間程度勉強する時間を確保しました。そして学校へ向かい、夕方は予備校の自習室で勉強、帰ってから野球を途中まで見て、夜九時過ぎには寝ていました。この超朝型の生活習慣に変更して感じたメリットは、模試や入試の日いつものリズムで頭が動くということです。これらの日は普段の学校より早く家を出るのでうまく頭が回らないという人も多いと思いますが、元々の生活習慣が朝型なら特に普段と変わらず過ごすことができ、コンディションを整えやすいです。一方でデメリットとして、予備校で働き出した時に夜十一時まで働くのがとてもなくしんどかったということがあります。なので、社会に出て生きていくには都合が悪い生活かもしれませんが、受験を第一に考えるのであれば是非とも取り入れてほしい習慣です。

その他、意識していたことはスキマ時間の活用です。私の高校は家から徒歩二十分、電車十分の三十分

長岡 優汰（カイチ予備校蒲生校）

ほどしかかからなかったのですが、歩いている時にはリスニング、車内では前日に覚えた英単語の復習などの時間には十分でした。学校の休み時間も活用して勉強に充てる時間をできるだけ多くし、食事の際にはTEDという英語でのプレゼンテーションを見つけてリスニング力を鍛えていました。こうしたスキマ時間を合計して1日平均2時間ほどを捻出できたので直前期で焦っていたり、勉強の習慣をつけたかったりする人にはおすすめです。

こうした点を意識することで私は、効率よく学習することができ、短期間で成績を伸ばすことができました。また、夏休みまでに勉強以外のやりたいことをきっちりやり切って夏休み後に勉強だけに集中することができたということも大きな要因だと思います。皆さんが今やりたいことと受験勉強の時間のバランスは難しいかと思いますが、自分の今の立ち位置、必要な時間などを逆算してこの時期までに切り替えようというタイミングを見つけることが大切だと思います。自分で考えるのが難しければ、カイチの先生方が相談に乗ってくれます。様々な大手塾の体験に行きましたが、カイチの先生への相談のしやすさは別格です。是非活用してください。

の性質や合同などを利用して和差で求めるケースに限られています。

それでは「計算」で求めるために、解答者の武器になるのは何でしょうか？

それは「三平方の定理」と「相似」です。これら2つのどちらか、あるいは両方を使ってフィニッシュすることになるのです。そうなると考えなければならないことは、これらが使えるシチュエーションは何か、ということ。最もありがたい形は、ズバリ「直角三角形」です。相似が発生しやすいという点で「平行線」と「円周角」も重要ですが、直角三角形の威力は絶大だと思います。「直角三角形と言えば三平方の定理」ではありますが、相似とも相性が良いのです。2つの三角形で2つの角が等しくなると相似な三角形になります。直角三角形どうだともう1つ等しければ相似になりますね。ですから直角三角形に対して、三平方の定理にこだわら過ぎないように注意してください。

高校入試の図形問題は、出題者と解答者の「直角三角形攻防戦」です。

出題者は解答者にとっての最強アイテムである直角三角形を隠しています。

解答者は隠された直角三角形を発見しなければなりません。

そのために必要なことは何でしょうか？

それは「直角ができる条件」をインプットしておくことです。まずは思い付くものを書き出してください。これからの勉強を通して思い出したものや新たに気付いたことは書き足していきましょう。リストにすることで記憶が整理され、検索しやすい記憶になっていきます。同様の作業を他のさまざまな項目についてもおこなっていくと「使える知識」として整理されます。

最後に今回の話がみなさんにとって「めっちゃエエ話」になってくれると幸いです。

頑張れ！ 受験生！



福井のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 福井 幸司（カイチ予備校蒲生校）

中学3年生へ、渾身のメッセージ！

1月18・19日に「大学入学共通テスト」が実施されます。「情報」が加えられ、新課程の最初のテストになります。かつての「センター試験」で受験した者から見て、かなり難度の高いテストになりました。私は数学と生物を指導していますが、明らかに難しいテストに変化しています。それでも求められる基準の高さに合わせて、受験生達は成長していきます。指導していて、驚きと感動の連続です。指導する側も生徒達に負けないよう、効果的なより良い指導法を求めて日々研鑽を積んでいます。

高校入試に向けての動きもシビアになっているでしょう。そこで高校入試の図形問題に関して「ちょっとイイ話」をさせていただきます。私が現在「共通テスト」攻略のために情熱を注いでいるよう

に、「大阪府公立高校入試問題」とも真摯に向き合っていました。私はは数学指導の師匠がいました。授業が本当にカッコ良く、たくさん質問し多くを学びました。現在でも毎回の授業を見ていただいているつもりで取り組んでいます。

『キングダム』第52巻のこのコマ。泣けます。主人公の信が少年時代に師と仰ぐ王騎將軍から引き継いだ矛を自在に操れるまでに成長し、初めて敵将を討つ場面です。

以下ざっくりとした話をしますので、細かいことは気にせず読んでくださいね。

高校入試の図形問題は「線分の長さ」に関するものがメインになります。面積や体積を求めるためには線分の長さが必要であり、線分比を求めるにも線分の長さが必要になることがほとんどです。

では、どのように「線分の長さ」を求めるでしょう？まさか「定規で測りなさい」とは言われませんよね。もちろん「計算」して求めるのです。「当たり前やん！」と思うかもしれませんが、実は「計算」で求める問題はある単元を習うまでは皆無です。二等辺三角形や平行四辺形のように特別な名前を与えられた図形



カイチからのお知らせ

- 1月18日(土)は英検のテスト日です。TK・中学英検のみんな全員合格目指して頑張ろう。
- 2月4日(火)・2月5日(水)は小学診断テストを実施します。
- 2月1日(土)・8日(土)・15日(土)・22日(土)は新年度入塾説明会を実施します。入会をご希望の方は是非ご参加ください。
- 2月10日(月)は私立高校入試日です。受験生のみんなガンバレ！

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



January 2025
Vol. 148
毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【鶴見区教室】
鶴見区鶴口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【カイクベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章（塾長）

あけましておめでとうございます。

中3の直前合宿、みんながんばりました。

年末の12月28日(土)～30日(月)南港のホテルフクラシアで中3生の受験直前合宿がありました。生徒も先生も、冬期講習が終わりその翌日から、早朝から深夜まで必死に頑張っていました。体力的にも精神的にも厳しかったと思いますが、暗さや悲壮感を一切見せないみんなの姿がカッコよくて熱くなりました。



今回の記事は、合宿の最後に「受験のその向こう」という題名で話した内容をまとめたものを掲載します。不安とはどう向き合う？努力は本当に必要？目標を達成するには？夢って何？など受験生達はもちろん、気持ち新たに頑張ろう！と考えているみんなには是非読んで欲しいと思います。

ここにいる多くの人達が、あと少し、手をあと少し伸ばさないとダメと言う状況の人達だと思います。それは決してがっかりすることではなく、志望校とは自分の実力よりもレベルが高く、そもそも手を伸ばさないと届かない存在です。その志望校にあと少しで手が届く、そこまでやってきた。だから、まず「ここまで来られたことがすごい」という認識を持って欲しいと思います。

お正月が明けると、いよいよ私立入試まで1か月。空気が一気に張り詰めてきます。この時期になると、きっと、入試当日のことを考えて、合格できるかな？不合格になったらどうしよう。と不安になると思います。

実は皆さんが感じている不安な状態とは、今自分が立っている場所から、行きたいところまでの差を感じている状態です。でも、逆にこの目標との差を知らないと、現状と目標を埋める方法は考えられません。また、不安だからこそ、この差を埋めてやろうと力が湧いてきます。そのように考えると不安は、嫌なことですが悪いことではありません。不安を感じるの、真剣に志望校を目指している証でもあります。

不安を感じたら目標との差を埋めるために何をすべきかを書き出してください。テキストの目次を見ながら不安な箇所を書き出してもよいでしょう。すると、課題が具体的になります。書き出したら今度は先のことは考えず、粛々と書き出したことを潰していきます。

少し顔を上げて先のことを考えて不安を感じ取る。不安を感じたら不安を埋めるためにすべきことを書き出す。書いたら、今度はひたすら自分の足元だけを見てそれを潰す。周りを見たら自分より成績のいい子がいるかもしれませんが、自分より余裕のある子がいるかもしれません。でも、周りを見ない。自分の足元、今日すべきことだけに集中して、自分の歩みを進めることに集中する。そのように取り組んでいくと不安はなくなってきます。ダメなのは、不安な気持ちに振り回されて立ち止まることです。不安な気持ちを受け止め、目標との差を理解し、不安を現状との差を埋める力に変えることです。

それから努力について。努力は本当に必要なのか。努力よりも才能や能力が大切ではないか、と思うかもしれませんが、努力して成果につながらない時、私達は「自分はこれに向いていない」と努力を諦めてしまうことがあります。最近には特に、要領よく

という風潮が強く、努力を軽んじている気がします。しかし私は、能力以上に努力が大切だと考えています。私が努力は大切と考える理由は2つあります。

1つは、人間は努力して、もがく時期があるからこそ、自分の能力や適性、また自分の能力の活用の仕方に気づくことができます。皆さんも今受験勉強を頑張っているからこそ、自分の得意・不得意科目や単元をある程度理解できますよね。また、能力は教科だけではなく、過去問を早く解けるけどケアレスミスの多い人もいれば、ゆっくりだけどケアレスミスの少ない人もいる。努力を重ねる上で、自分の特徴を知ることができます。それで今度は、不得意科目や単元を重点的に勉強したり、ケアレスミスの多い人は、問題を解きながら解答が不安な問題に印をつけて見直しを効率よく行ったり、解くのが遅い人は、時間がかかる問題を飛ばして後で考えるなど工夫をするようになります。つまり自分の能力を活用できるようになります。実はこれは大人の仕事も同じで、努力して苦しまないと自分なりのスタンスが身につかず、仕事が面白いと感じることができません。

2つ目はこれがとても大切なことですが、努力している人は人格が高まります。努力をするには自分と向き合い、自分に克たなければなりません。みなさんもそうです。カイチは楽な塾ではありません。宿題も多いし、先生は鬼のように怖いし、12月30日まで合宿するし…。でも、今のみんなはどうですか？凛としたいい顔をしています。充実した顔をしている。実は本当の喜びは、努力の向こうにしかない。社会は今のみんなのような人を求めています。ずる賢い人でも要領の良い人でもありません。努力は人格を高めるのだと知っておいてください。

そして努力しているみんなだから知って欲しい最後のこと。それは夢を持つことです。

まずは夢に近い目標について。

実は目標を紙に書いている人の達成度が高いことは科学的にわかっています。先生が出会った人達も、高い成果を出している人達は間違いなく目標を紙に書いている人達でした。皆さんは、家に帰ったら、「～高校に合格する。」と紙に書いて、机の前に貼ってください。貼って眺めると何が起きるか。わくわくすると共に不安になる。大丈夫かなと不安になって、すべきことが浮かんできます。そして、それを自分を律して努力して潰してください。そうすると合格は近づきます。

実は様々なことへの目標達成はこうやって、誰にでもできます。受験が終わったら、どンドン目標を達成して、バリバリ前に進んでください。

するとある時、自分の頭の上に大きな「？」が浮かぶようになります。

「いろいろ目標は達成したけど、一体自分は何のために生きてるんだらう？何を大きな目標にして生きればいいのかのらう？」

その問いが浮かんで来たら、あなたの目標に「志（こころざし）」を足してあげてください。「志」とは世のため人のためになる気持ちです。

例えば「私は将来パン屋になる」→「私は世界中の人を幸せにするパン屋になる」

目標に志が宿ると、それは夢になります。夢は人生をかけて追いかけるものです。

可能性の塊で素敵な皆さんには、夢を持つ大人になって欲しいと思います。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

「自分に向き合う、自分に勝つ」
個別指導を目指して

井上 陽平(カイコベ教室長)

新年明けましておめでとうございます！いよいよ2025年がスタートしましたね。みなさん、昨年はどんな1年だったでしょうか？僕にとって、2024年は大きな挑戦の年でした。2024年3月、蒲生四丁目にカイコ初となる個別指導専門教室「カイコベ」をオープンし、その教室長として駆け抜けて参りました。今回は、そんなカイコベの今の姿を、みなさんにご紹介させていただきます。

①そもそもカイコベってなに？

勉強って、すごく大変ですよ。いったい何のために勉強するのでしょうか？「いい高校、いい大学に行くため」「社会で生きる力をつけるため」もちろんこれらも正解です。ただ、カイコベでは「自分自身と向き合い、新しい素敵な自分に出会うため」に勉強が必要だと考えています。誰かに勝つ強さは大事。でも、激動の時代で真に大切なのは、自分と向き合い、自分に負けない強さです。誰かに勝った・負けたから、あなたの評価が決まるのではない。すごいあなたは、あなた自身の中に眠っています。カイコベで挑むのは、他の誰かでもない、今の自分。努力と工夫によって、今の自分より数cmでも成長する。そんなひとりぼっちの挑戦。でも、私達はそんなあなたを孤独にさせない。カイコベは、自分に挑む生徒達1人1人に寄り添う教室です。



②小学個別クラス

カイコ初となる小学個別の生徒は、それぞれ多様な学習を進めています。学校の予習・復習、英検対策、中学受験の勉強をする生徒など、各々が自身の課題と向き合い、乗り越えようと努力しています。中には、授業のない日に自習

に来る生徒もちらほら。小学生のうちから、「やればできる」感覚を身に付けることが出来れば、中学校での大変な受験勉強も乗り越えていきます。小学個別の生徒の成績がこの先もグングン上がっていくよう、今年も全力で盛り上げてまいります！



③中学個別クラス

カイコベで学ぶ中学生達も、少しずつ塾での勉強に慣れ、活気が生まれてきました。カイコベでは、授業・宿題だけでなく、毎回小テストを行います。合格できなかった場合は、満点になるまで再テストをします。満点になるまで、何度でも。普段の授業から、粘り強く取り組む姿勢が育っています。また、定期テスト前の3時間自習・9時間自習にも、一生懸命取り組んでいます。中3の受験生達は、塾のない日にも自習に来て、各自の苦手に向かっています。生徒達の、昨日の自分に勝とうとする姿勢には、僕自身も勇気づけられます。



④カイコベの先生達

カイコベを支えてくれる先生達もご紹介します。カイコベの先生のモットーは、「生徒に元氣

を与えること」。生徒達が、しんどい勉強に対して、それでも頑張ろうと立ち向かえるよう、先生達は生徒と密にコミュニケーションを取っています。生徒が教室に来たら、玄関まで出て元気に挨拶。授業の中でも、様々なトピックで会話をしよう、スタッフ全員で徹底しています。先生達は、生徒が理解するまで寄り添う暖かさ、目標達成のために最後までやり切らせる熱さを兼ね備えています。僕自身もそんな彼らに負けないよう、カイコベに関わる全ての人に元氣を与え続ける存在でありたいと思います。



⑤おわりに

カイコベは、開校したばかりでまだまだ試行錯誤のさなかにあります。先生も生徒も、みんな一生懸命。2025年は、この勢いをもっと加速させられるよう、日々の授業に取り組んでいきます。ただし、時にはひと息つくことも大切。風邪やインフルエンザも流行っているので、みなさんもお気をつけください。今年もどうぞよろしくお願いたします！



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

珠算競技大会、今福教室優勝おめでとう！
クリスマス会で感じた「生きる力」

マナロ 恭子(関目教室・今福教室)

今年も毎年恒例のそろばんの大イベント『第20回オールカイチ珠算競技大会』が実施されました。20年前……。私がまだカイチでピチピチの20代の頃で、最初は教室も今福と古市しかなく健先生(塾長のお父さん)と塾長の親子対決のような感じで始まったそうです。第1～4回までは古市が優勝、第5～12回までは8年連続で今福が勝ち続け、塾長率いる本部の今福教室にはなかなか勝てないと思われていましたが、第13回～19回までの7年間はまた古市が勝ち続け、川西先生、奈穂子先生、福原先生の熱意に古市が全盛期を迎えました。しかし、それで黙っている塾長ではありません！そろばん指導に今まで以上に燃え始め、出張などで忙しくても、出来る限りそろばんの授業には戻ってきて熱意のこもった練習を子供達に提供されていました。また、子供達だけでなく、そろばんの先生達への指導にも力が入り、迫力満点の時もありました。そんな塾長に「イェッサー!!!」と愚痴一つこぼさず、ついていかれていた島先生、菅野先生はさすがです。



▲第20回大会は7年ぶり今福教室が優勝！

そんな中迎えた『第20回競技大会』。結果は、今福2勝、古市2勝、関目2勝の史上初の三つ巴となり合計得点の結果、今福が7年ぶりの優勝となりました！今福教室の皆さん、おめでとうございます。そして栄えあるプリント競技の最高得点賞は古市教室6年生の幡美織さん(1,135点)、読み上げ算のカイチNo.1には関目教室6年生の八幡木彩花さん(7桁～18桁10口正解)、読み上げ暗算のカイチNo.1には今福教室6年生の古野蒼士くん(3桁～6桁5口正解)が輝きました。



▲読み上げ算カイチNo.1.決定戦の様子。読み手の先生も緊張します。

さて、結果は今福教室の優勝に終わりましたが、実は他教室も続々とそれぞれの賞を勝ち取っていました。読み上げ算の部では、小2生や小4生に高殿生が上位に、読み上げ暗算の部では諸口生が上位に上がっていました。そして何より関目の活躍が目覚ましく、総合競技では関目の優勝が目立ち、読み上げ算ではなんと4学年で優勝！7桁～18桁の読み上げ算をバンバン正解していたそうです。こちらは内海先生・後藤先生による女性目線の細やかな指導が実を結んだのでしょうか。



▲プリント競技の様子。みんなすごい集中力です。

1年間そろばんの練習を頑張った成果をこの競技大会で発揮できたこと、またこの競技大会を目標に苦しい練習を乗り越えてきたこと、勝利して喜んだ人、負けて悔しかった人、結果はそれぞれですが、「目標を持ち努力すること」をそろばんを通して学んでくれたら何よりです。私達はつい様々なことを「日常」に変えてしまい、「それが当たり前」のように過ぎてしまっていますが子供達の頑張る姿は日常ではなく、「あなたはこんなに素晴らしいんだよ」ともって伝えてあげることが大切だなと感じました。



▲大人気のラーメン屋さんにはたった二人で。それでもどんだんお客をさばく商売上手。



▲小幡先生ご用達のロングウインナーは廃版でもう業務スーパーでは買えません。小幡先生が在庫を買い占めました。



▲お姉さんを通り越してお母さんのような声かけをしてくれるたこせん屋さん。ソースとマヨネーズと天かすの量をしっかり研究しているのが凄い！



▲ピンゴの神イノウエくんはまだまだ健在。シラケる思春期の高学年達も大興奮で小幡先生もべた褒め！！

先日、キッズコース最終日にカイチ恒例のクリスマス会がありました。私は関目教室でせっせとフランクフルトを準備しながらそれぞれのお店の様子を見て回っていましたが、6年生達の商売の様子や小さい子供達の気遣いにとっても感動しました。第1部ではラーメン屋さんにお客さんが集中しおかわりする子も続出。そこで、第2部が始まる前に少しだけ値上げをし、しかもお客さんを先にたこせん屋やミルクせんべい屋に誘導し、ある程度お腹を満たしてからラーメン屋へ来てもらう作戦を実行。また、小さい子には「熱いから気を付けてね」と声かけ。長い列ができた時には「準備しておくから先に別のお店に回ってくれていいよ」という気遣い。たこせん屋さんでは、小6生の店番の女の子が、「ほらほら、こぼれるよ！こぼらなくていいよ。大丈夫か？」とお姉さん通り越してもうお母さんになっていました。「子供のときから生きる力を身につけよう！」という教育をよく目にしますが、まさにこれが「生きる力」。もうすぐでも商売ができそう。小さい子供達がそれぞれ「楽しかった～」ととても満足気に帰っていき、私達も大喜びです。「ありがとう」と言ってくれる子もいました。楽しかったことに対して「ありがとう」が言える子って素敵だなと心がポワーンと温かくなりました。